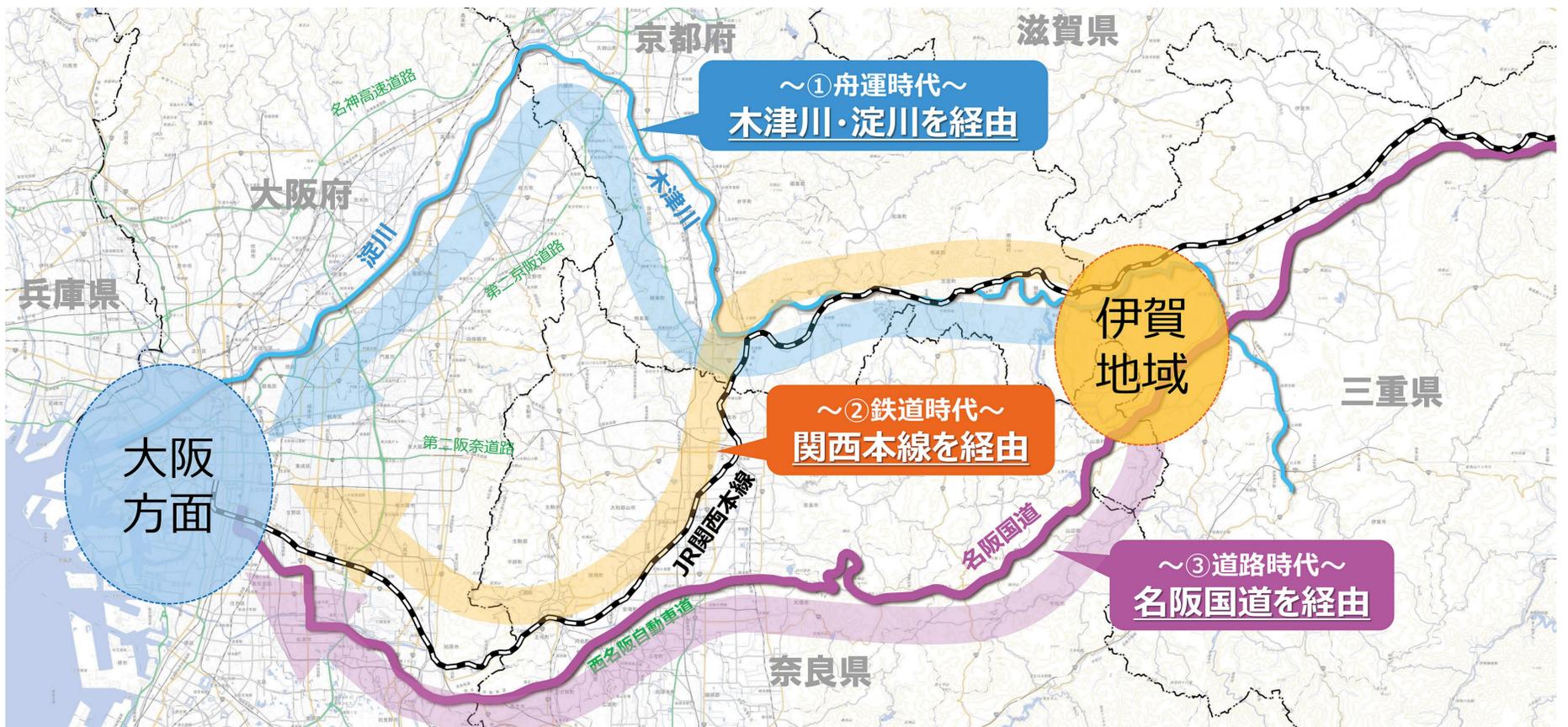


名阪国道と物流の変革

移動の高速化をもたらした名阪国道

■ 伊賀地域から大阪方面への交通

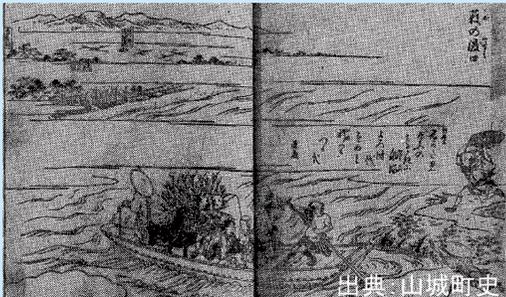


～時代とともに変革した物流～

① 舟運時代【～明治初期】

・江戸時代には商品流通が発達し、**木津川の水運**は伊賀上野地方の物産を京阪地方に輸送する**唯一の交通路**でした。

出典：国土交通省HP及び「経済論叢 第72巻第2号」
—S28年8月、京都大学経済学会—



② 鉄道時代【明治中期～】

・周囲と隔てられていた伊賀地域は、**鉄道建設によって新たな交流**が生まれました。
・1907年に関西鉄道が国有化され名古屋と大阪を連絡する現在の**関西本線**となりました。

出典：伊賀市史

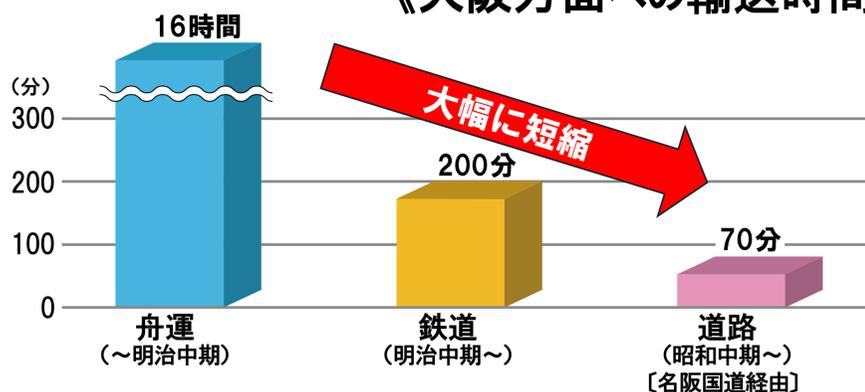


③ 道路時代【昭和中期～】

・名阪国道暫定開通によって、**輸送の主体は鉄道から道路にシフト**していきました。
・現在に至るまで輸送の主体を担っています。



《大阪方面への輸送時間》



[出典]

舟運：京都府立山城郷土資料館へのヒアリング調査より

鉄道：汽車汽船旅行案内(明治40年3月)

道路：R3道路交通センサス